



1月28日 市内37停留所を巡回する「まごころ便」



3月18日 新たなリサイクルセンターが本格稼働



4月1日 一斉に情報を伝達する同報系防災行政無線を開始

## 7月3日 合併から10年の歩みを振り返って

~9月17日

合併から10年間のまちづくりを紹介する写真展を11か所の公民館などを1週間ずつ巡回し、まめバス運行からコウノトリ飼育までをカラー写真39点などで、市の10年の歩みを紹介しました。

## 18日 客席工事を終え文化会館がリニューアル

平成21年度から進めている文化会館の改修工事は、24、25年度にかけて客席改修工事を実施し、座席の交換や車椅子専用席、磁気ループなども設置。より快適に舞台鑑賞が楽しめる客席にしました。

## 18日 安全安心な玄米黒酢散布による米作り

・8月7日

農業に替わって玄米黒酢を、小山、船形、目吹、木野崎、関宿地区の約459ヘクタールに空中散布、木間ヶ瀬地区23ヘクタールに地上散布しました。全耕作水田の49.7パーセントに拡大され、野田産米のブランド化の普及に取り組んでいます。

## 8月1日 パブリックゴルフ場利用率の向上に向けて

8

市民ゴルフ場利用者のサービス向上のため、ひばりコースの施設改修やスループレー制の導入、利用料金の大幅値下げを行い、リニューアルオープンしました。

## 22日 東日本大震災を踏まえた新「地域防災計画」

地震はもっとも大きなものを想定し、さらに風水害以外にも、放射性物質事故に伴う放射能対策や水質事故による断水時の対策なども盛り込みました。

## 9月2日 竜巻発生によって市内で大きな被害が

9

被災後すぐに市では応急支援を行い、国に対しても被災者生活再建支援制度の適用を求めましたが、基準が緩和されず適用されなかったため、市独自の見舞金を市議会に追加提出しました。同時に、県にも被災者支援事業の実施を要請し、県からも支援が受けられることになりました。

## 15日 地震による揺れやすさなどを地図に

想定される最大震度を示した「揺れやすさマップ」、地盤の液状化の危険性を示した「液状化危険度マップ」、最大震度での建物全壊の危険度を示した「地域危険度マップ」からなる「地震ハザードマップ」を配布しました。

## 10月1日 空き家の適正管理に向けて

10

所有者の高齢化、経済的事情などで放置された空き家が、老朽化による倒壊、不審者の侵入、放火などが社会問題となっていることから、市が適正管理に向けた措置や空き家除却工事費用の一部助成、売却や賃貸の紹介などができるようになりました。

## 17・18日 竜王戦七番勝負第1局が市民会館で開催

合併10周年を記念して、第26期竜王戦七番勝負第1局(開幕局)が市民会館で開催され、挑戦者森内俊之名人が渡辺明竜王を下し、先勝しました。

## 11月2日 市指定文化財の絵馬など55点を展示

~1月31日

郷土博物館で開催の特別展「野田の絵馬」では、市域に現存する約1,600枚の絵馬から読み解いた、当時の人々の生活や願い事を紹介し、市指定文化財「間引き絵馬」など55点が初めて一堂に会する展示となりました。

## 2日~10日 日ごろの文化・芸術活動の成果を披露

市民の皆さんが日ごろから取り組まれている文化・芸術活動の成果を発表する「野田市文化祭」を開催。作品展示の部、舞台発表の部、各種行事の部に221団体が参加し、多くの方が鑑賞に訪れていました。

## 12月1日 市のイメージアップを目指したフェイスブック

12

豊かな自然や街並みをはじめとする野田の魅力をもっと多くの人に発信し、交流を通じて野田市のイメージアップを目指すため、公式フェイスブックページがスタートしました。

## 4日~10日 まめバスをテーマにしたポスター展

まめバス利用者数の300万人突破と、合併10周年を記念して、市役所1階ふれあいギャラリーでまめバスポスター展を開催しました。市内小学校3年生から6年生の児童の入賞作64点を展示しました。

## 15日 合併10周年を記念してどーもくんがやってきた

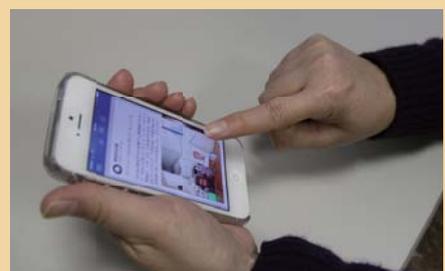
合併10周年を記念して、市とNHK千葉放送局との共催で、文化会館でBS番組「みんなDEどーもくん！」の公開録画が行われ、市内外から多くの家族連れが訪れステージを楽しんでいました。



8月1日 パブリックゴルフ場の料金を大幅に値下げ



10月19日 竜王戦関連イベントではプロ棋士による指導対局も



12月1日 フェイスブック上に皆さんの交流の場を